

A light blue world map is centered in the background of the slide, showing the continents in a slightly darker shade of blue.

NSK

2010年3月期 第1四半期決算資料

日本精工株式会社

2009年7月30日

本資料には、業績見通し等を記載しております。

それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの一定の前提に基づいて作成しております。従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

■ **2010年3月期 第1四半期実績** P2～P16

■ **トピックス**

ー **グローバル生産体制の再編加速** P18

ー **中国における精機製品子会社
の設立** P19

(補足資料)

2010年3月期 第1四半期実績

2010年3月期1Q実績

- ✓ 工作機械、産業機械向けは景気回復の遅れと在庫調整の継続により、前4Qに対して需要減速
- ✓ 自動車の在庫調整が進展、各国の景気刺激効果により生産回復の兆し
- ✓ 液晶関連、半導体関連向けともに設備投資需要は低迷継続
- ✓ 売上高は前年同期比39.5%減の1,158億円、営業利益は収益対策効果や外部調達費用削減などの利益寄与があるものの、物量の大幅減少や為替円高のマイナス影響により △45億円
⇒前第4四半期比較では、売上増・営業損失幅縮小

2010年3月期2Q見込み

- ✓ 産業機械向けの在庫調整は緩和されるも、需要回復には遅れ
- ✓ 自動車は1Qに続きカーメーカーの生産回復基調が継続
- ✓ 厳しい環境下において引き続き収益改善施策を徹底的に実行

前半、通期ともに期初予想(5月12日発表)に変更なし

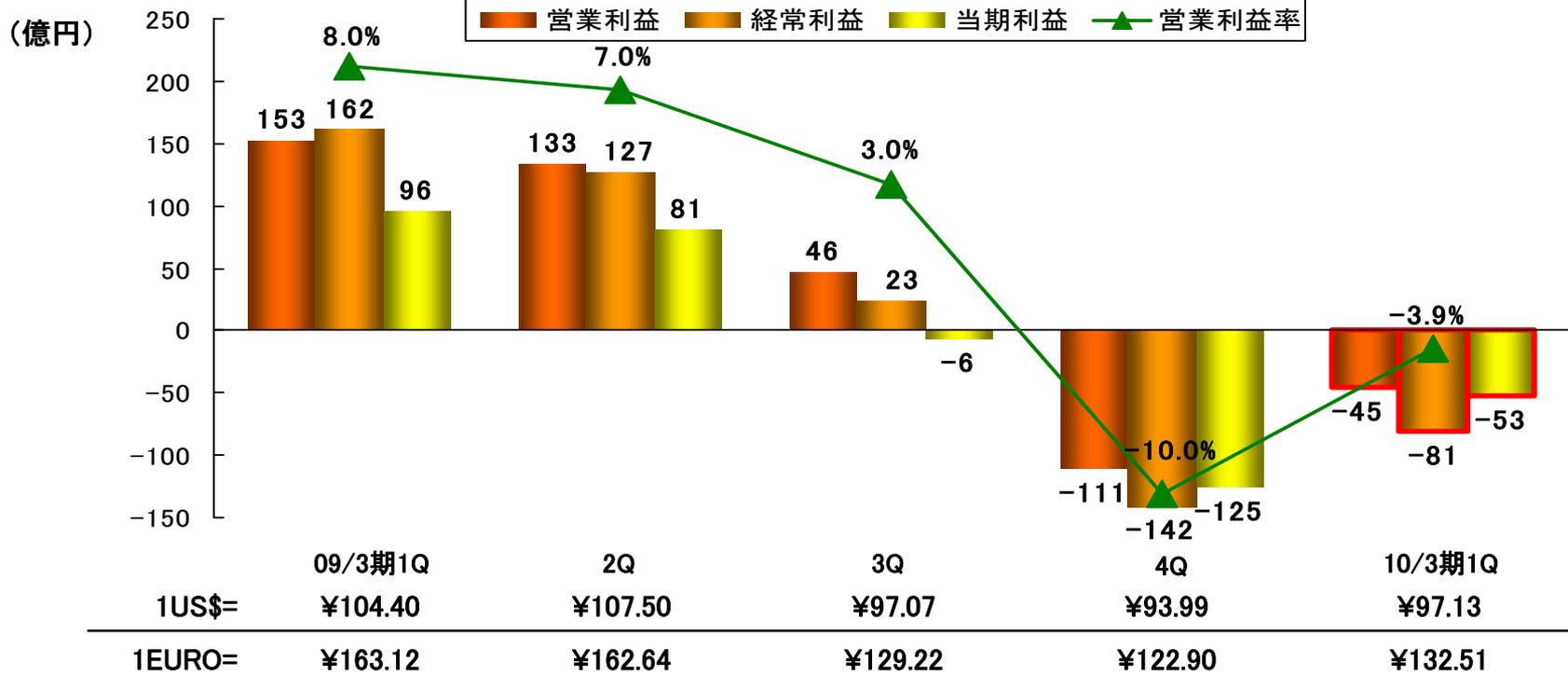
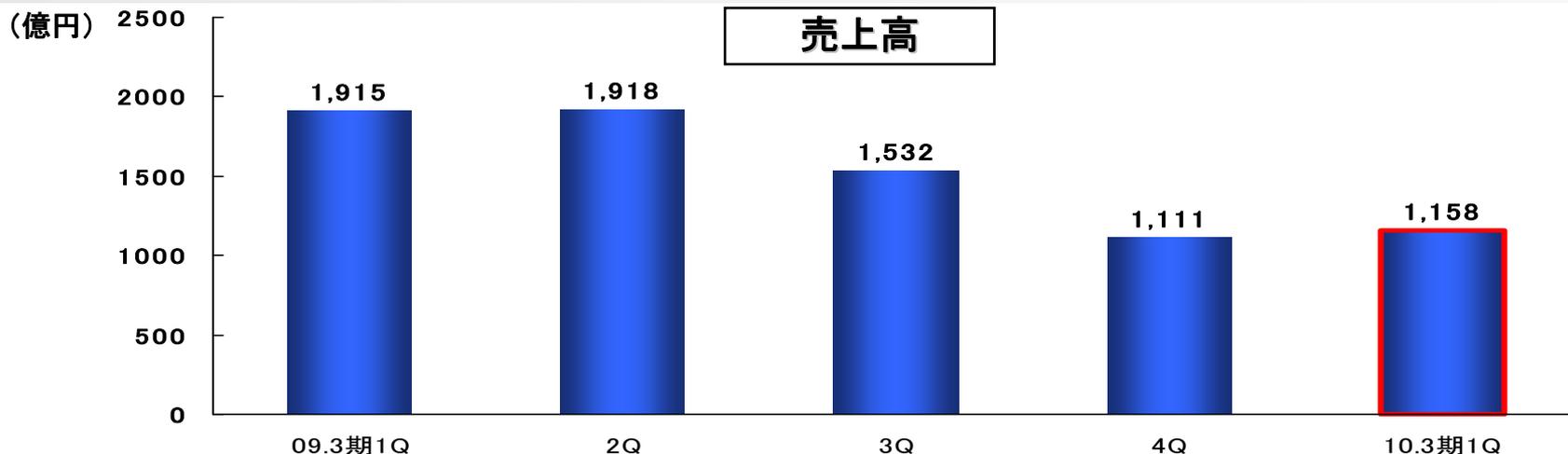
第1四半期

連結業績サマリー



(億円)	09年3月期			10年3月期				
	第1四半期 <実績>	前半 <実績>	通期 <実績>	第1四半期 <実績>	対前年 同期 増減額	対前年 同期 伸び率	前半 (期初予想)	通期 (期初予想)
売上高	1,915	3,833	6,476	1,158	-757	-39.5%	2,500	5,500
営業利益	153	286	221	-45	-198	-	-70	30
<営業利益率>	<8.0%>	<7.5%>	<3.4%>	<-3.9%>			<-2.8%>	<0.5%>
経常利益	162	289	170	-81	-243	-	-120	-50
税引前利益	167	277	103	-81	-248	-	-120	-50
当期純利益	96	177	46	-53	-149	-	-85	-35
(換算レート1US\$=)	(¥104.40)	(¥105.95)	(¥100.74)	(¥97.13)			(¥95)	(¥95)
(" 1EURO=)	(¥163.12)	(¥162.88)	(¥144.47)	(¥132.51)			(¥125)	(¥125)

四半期別 連結業績推移



事業セグメント別業績



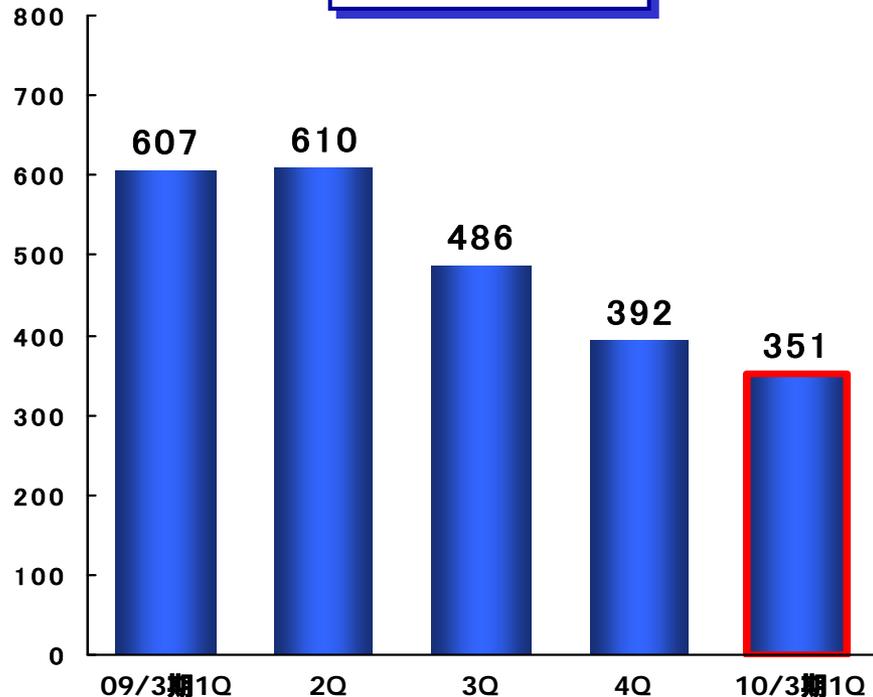
(億円)		09年3月期			10年3月期				
		第1四半期 ＜実績＞	前半 ＜実績＞	通期 ＜実績＞	第1四半期 ＜実績＞	対前年 同期 増減額	対前年 同期 伸び率	前半 (期初予想)	通期 (期初予想)
合 計	売上高	1,915	3,833	6,476	1,158	-757	-39.5%	2,500	5,500
	営業利益	153	286	221	-45	-198	-	-70	30
	営業利益率	8.0%	7.5%	3.4%	-3.9%			-2.8%	0.5%
産業機械 軸受	売上高	607	1,217	2,095	351	-256	-42.2%	850	1,850
	営業利益	82	162	195	-10	-92	-	35	130
	営業利益率	13.5%	13.3%	9.3%	-3.0%			4.1%	7.0%
自動車 関連製品	売上高	1,080	2,141	3,525	708	-372	-34.5%	1,400	3,100
	営業利益	61	108	68	0	-61	-	-20	35
	営業利益率	5.7%	5.1%	1.9%	0.0%			-1.4%	1.1%
精機製品	売上高	149	311	575	63	-86	-58.0%	150	350
	営業利益	14	30	5	-18	-32	-	-45	-65
	営業利益率	9.4%	9.6%	0.9%	-29.0%			-30.0%	-18.6%
その他	売上高	142	299	507	70	-72	-50.6%	180	370
	営業利益	9	18	8	-6	-15	-	-15	-20
	営業利益率	6.7%	5.9%	1.6%	-9.3%			-8.3%	-5.4%
売上高消去		-63	-135	-226	-34	+29		-80	-170
全社費用／消去		-13	-32	-55	-11	+2		-25	-50

事業セグメント別業績 [産業機械軸受]



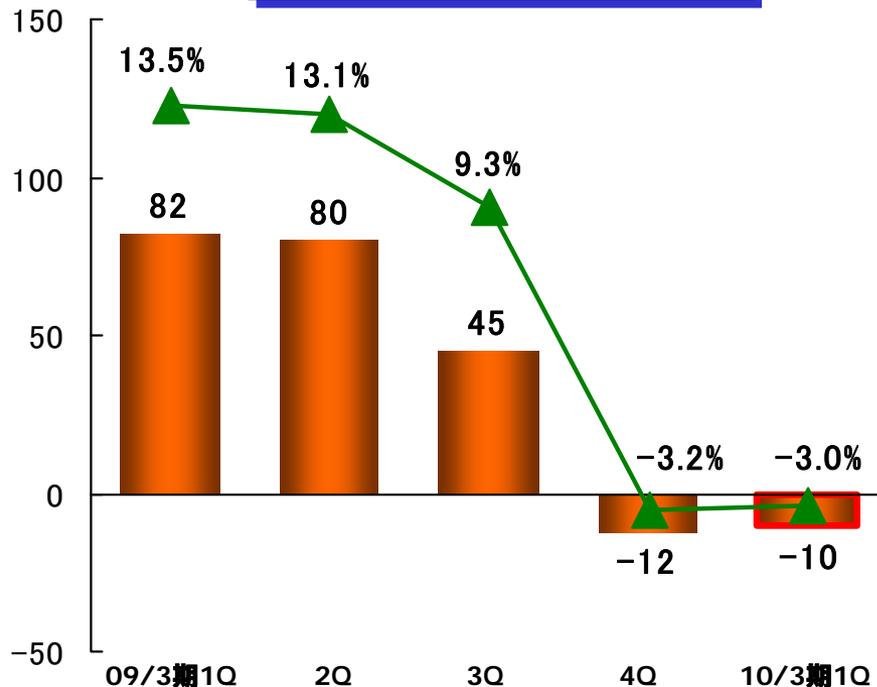
(億円)

売上高



(億円)

営業利益・営業利益率

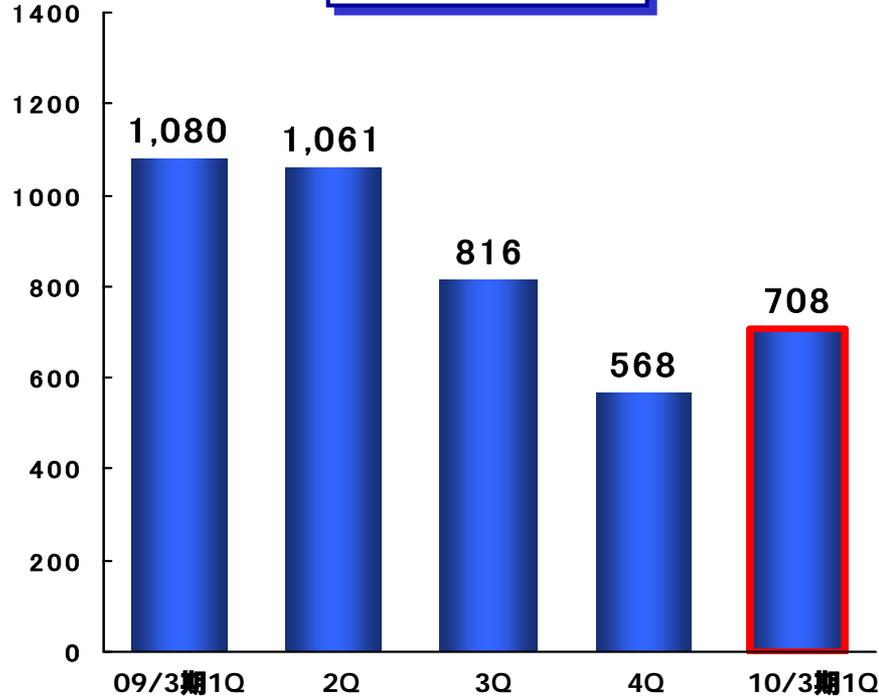


- 設備投資需要の低迷・在庫調整の継続により、工作機械/建設機械/一般機械向け需要は低調、アフターマーケット向けについても販売チャンネル開拓など拡大施策を継続するも代理店の在庫調整が影響し、1Q売上高は前年同期比 42.2%減。景気回復の遅れにより前4Q対比で売上減となるも、減収幅は縮小。
- 1Q営業利益は収益改善施策・外部調達費用削減・製品値上などの効果があるものの、物量減・為替円高などの影響により、前年同期比 92億円減。前4Q対比では、売上減となるも、収益改善施策・外部調達費用削減・設備投資圧縮による減価償却費の減などの自助努力と為替円安によるプラス効果により改善。

事業セグメント別業績 [自動車関連製品] **NSK**

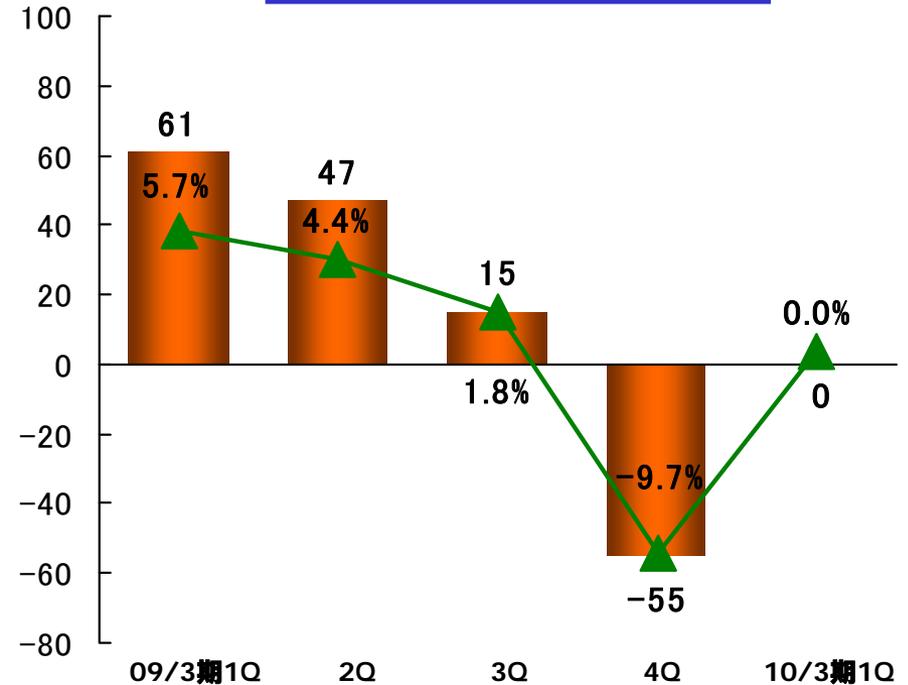
(億円)

売上高



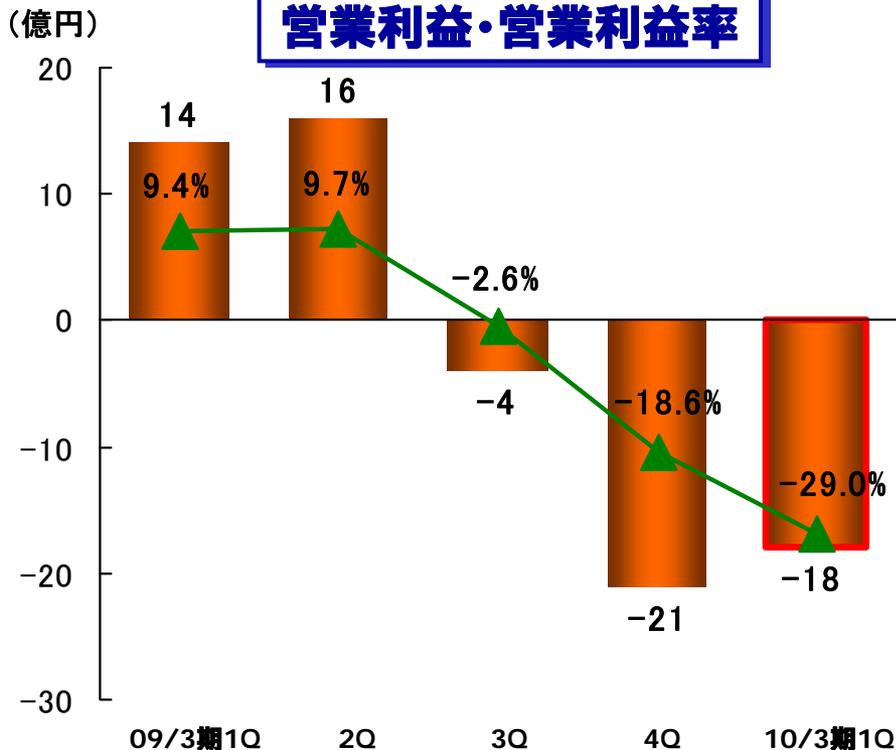
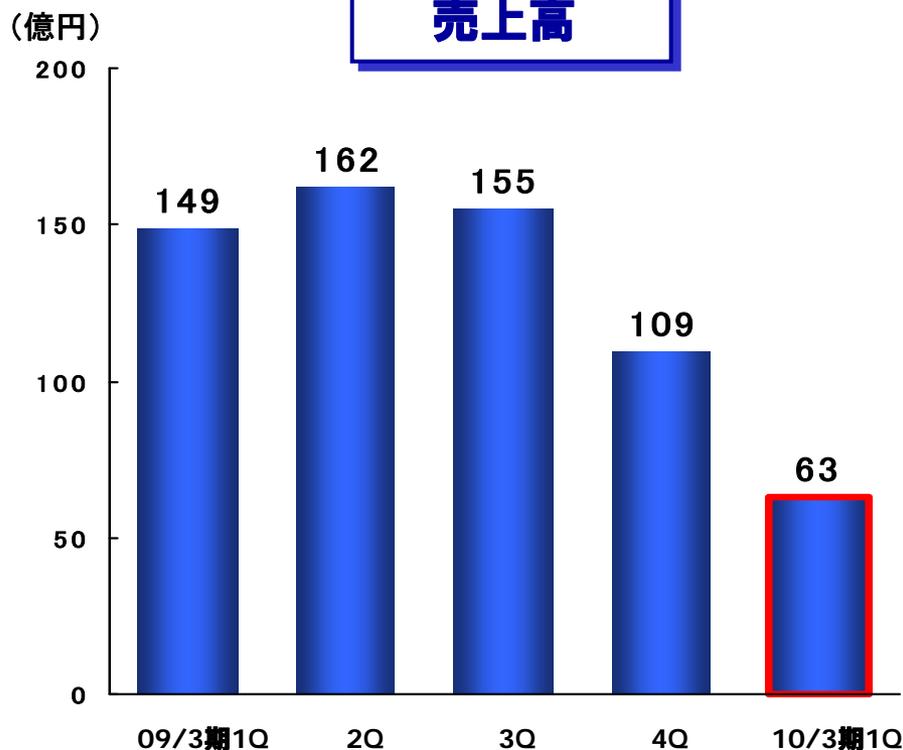
(億円)

営業利益・営業利益率



- 1Q売上高はグローバル自動車需要の減少により前年同期比 34.5%減だったものの、前4Q対比ではカーメーカーの在庫調整がほぼ一巡したことや、各国の政策効果も加わり自動車生産が上向いたことにより 24.6%増。
- 1Q営業利益は収益改善施策・外部調達費削減などの効果があるものの物量減・為替円高・売価ダウン等の影響により、前年同期比61億円減。前4Q対比では物量回復に加え、収益改善施策・外部調達費用削減・設備投資圧縮による減価償却費の減など自助努力効果により大幅に収益改善。

事業セグメント別業績 [精機製品]



- 日本での設備投資増により液晶露光装置は売上増なるも、工作機械、半導体・液晶関連、射出成形機向け需要の低調継続により、1Q売上高は前年同期比58.0%減。前4Q対比での売上減は主に液晶露光装置の減が影響、足元での直動・マトロ製品の受注は緩やかに上向き。
- 収益改善施策の効果があるものの、直動・マトロ製品の物量減少の影響により、1Q営業利益は前年同期比 32億円減。前4Q対比ではミックスの影響と収益改善施策等により改善。

法人所在地別業績



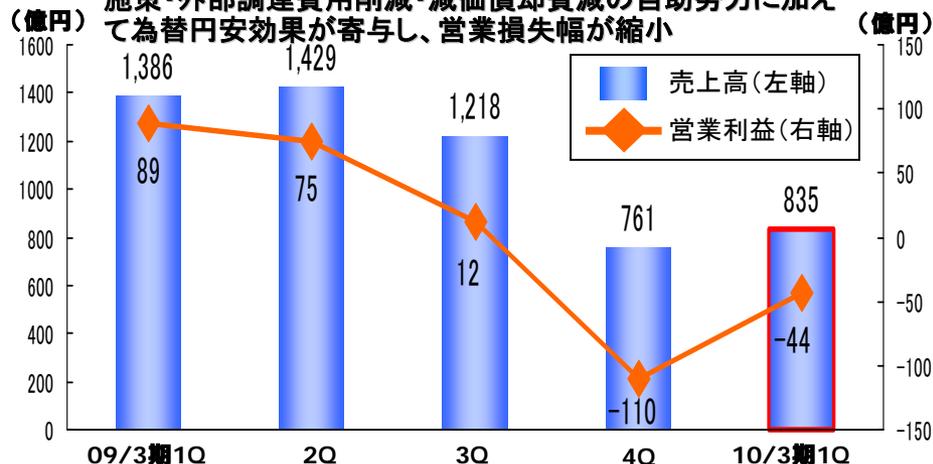
(億円)		09年3月期			10年3月期				
		第1四半期 ＜実績＞	前半 ＜実績＞	通期 ＜実績＞	第1四半期 ＜実績＞	対前年 同期 増減額	対前年 同期 伸び率	前半 (期初予想)	通期 (通期予想)
合計	売上高	1,915	3,833	6,476	1,158	-757	-39.5%	2,500	5,500
	営業利益	153	286	221	-45	-198	-	-70	30
	営業利益率	8.0%	7.5%	3.4%	-3.9%			-2.8%	0.5%
日本	売上高	1,386	2,815	4,794	835	-551	-39.8%	1,830	3,980
	営業利益	89	164	66	-44	-133	-	-50	5
	営業利益率	6.4%	5.8%	1.4%	-5.2%			-2.7%	0.1%
米州	売上高	247	490	782	136	-111	-44.8%	300	690
	営業利益	8	22	9	-4	-12	-	-10	5
	営業利益率	3.2%	4.4%	1.2%	-3.2%			-3.3%	0.7%
欧州	売上高	374	717	1,146	223	-151	-40.3%	430	920
	営業利益	35	61	94	14	-21	-60.5%	5	20
	営業利益率	9.4%	8.5%	8.2%	6.2%			1.1%	2.2%
アジア	売上高	297	610	1,085	184	-113	-38.1%	420	930
	営業利益	32	67	96	3	-29	-90.1%	15	60
	営業利益率	10.9%	11.0%	8.8%	1.8%			3.6%	6.5%
売上高消去		-389	-799	-1,331	-220	+169		-480	-1,020
全社費用／消去		-11	-28	-44	-14	-3		-30	-60

法人所在地別業績



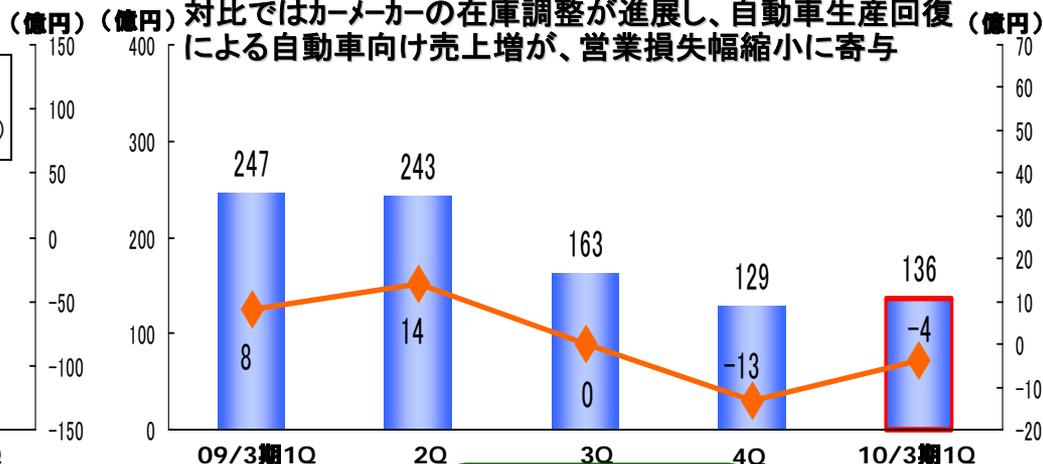
日本

前1Qに対しては物量減・為替円高影響等により大幅減益となったものの、前4Q対比では物量増効果の他に、収益改善施策・外部調達費用削減・減価償却費減の自助努力に加えて為替円安効果が寄与し、営業損失幅が縮小



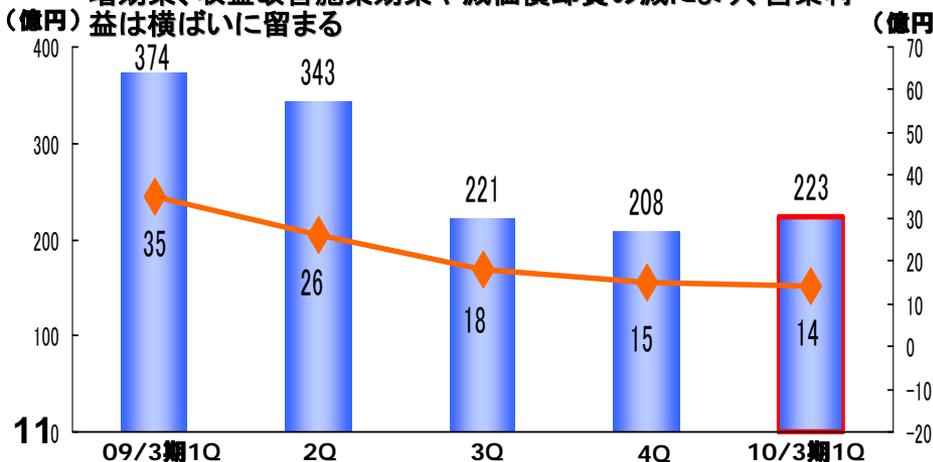
米州

前1Qに対しては、北米自動車需要低迷・産業機械向け需要減速により営業利益は13億円減となったものの、前4Q対比ではカーメーカーの在庫調整が進展し、自動車生産回復による自動車向け売上が、営業損失幅縮小に寄与



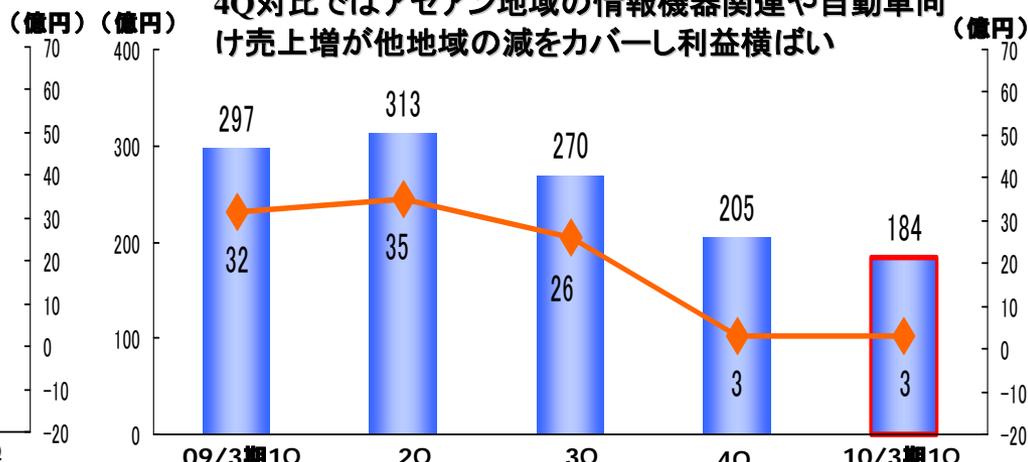
欧州

前1Qに対しては物量減等の影響により営業利益は21億円減、前4Q比では産業機械向けは減少したものの自動車向け物量増効果、収益改善施策効果や減価償却費の減により、営業利益は横ばいに留まる



アジア

中国・韓国・アセアン地域における自動車・産業機械向けの物量減等により、営業利益は前1Q比 29億円減、前4Q対比ではアセアン地域の情報機器関連や自動車向け売上が他地域の減をカバーし利益横ばい



顧客地域別売上高



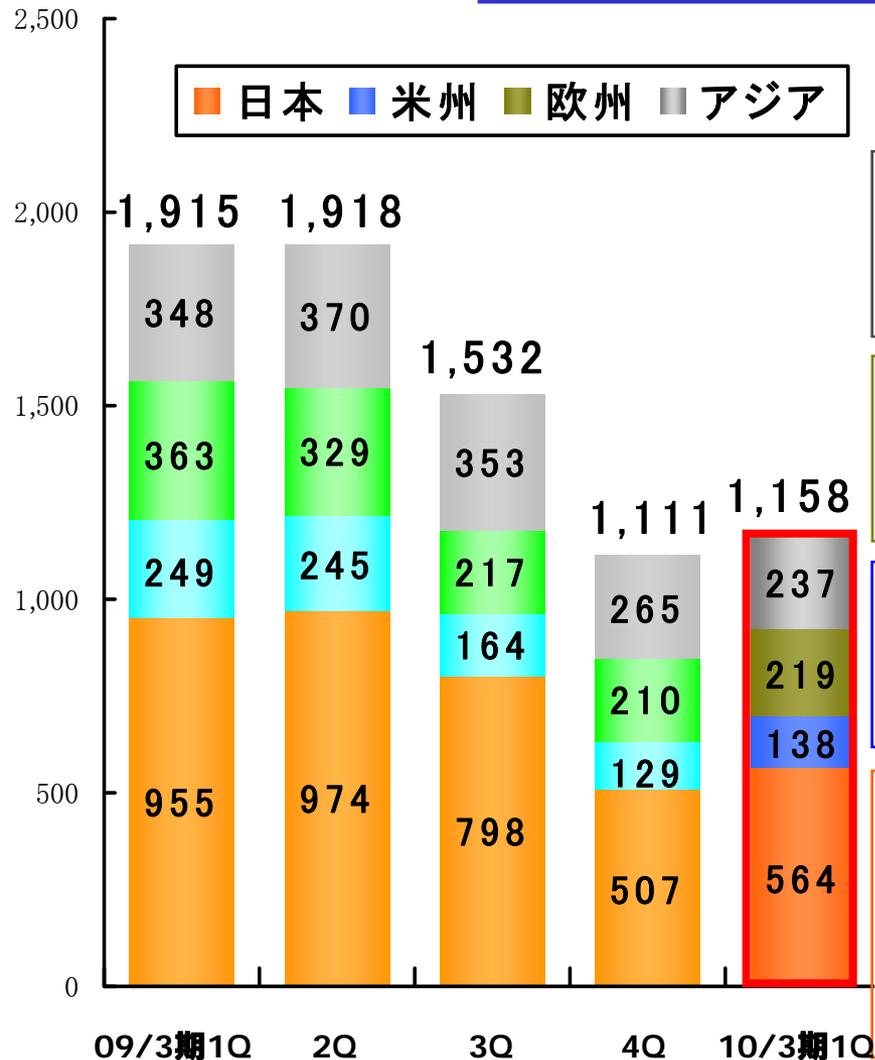
(億円)	09年3月期			10年3月期				
	第1四半期 ＜実績＞	上期 ＜実績＞	通期 ＜実績＞	第1四半期 ＜実績＞	対前年 同期 増減額	対前年 同期 伸び率	上期 (期初予想)	通期 (期初予想)
売上高	1,915	3,833	6,476	1,158	-757	-39.5%	2,500	5,500
日本	955	1,929	3,234	564	-391	-41.0%	1,240	2,710
海外合計	960	1,904	3,242	594	-366	-38.0%	1,260	2,790
(海外比率)	(50.1%)	(49.7%)	(50.1%)	(51.3%)			(50.4%)	(50.7%)
米州	249	494	787	138	-111	-44.4%	300	690
欧州	363	692	1,119	219	-144	-39.6%	430	930
アジア	348	718	1,336	237	-111	-31.9%	530	1,170

顧客地域別売上高



顧客地域別売上高 四半期推移

(億円)



アジア: 前4Q対比では、自動車向け・情報機器関連向け需要が回復基調となるも、客先の設備投資抑制による液晶露光装置の減少が売上減に影響

欧州: 産業機械向けは景気低迷による需要回復遅れにより減少するも、自動車販売優遇措置の効果による自動車向け売上げが前4Q対比売上げに寄与

米州: 産業機械・アフターマーケット向けは北米・中南米ともに低調、北米自動車は日系メーカーの在庫調整進展による生産回復が顕在化し、前4Q対比で売上げ

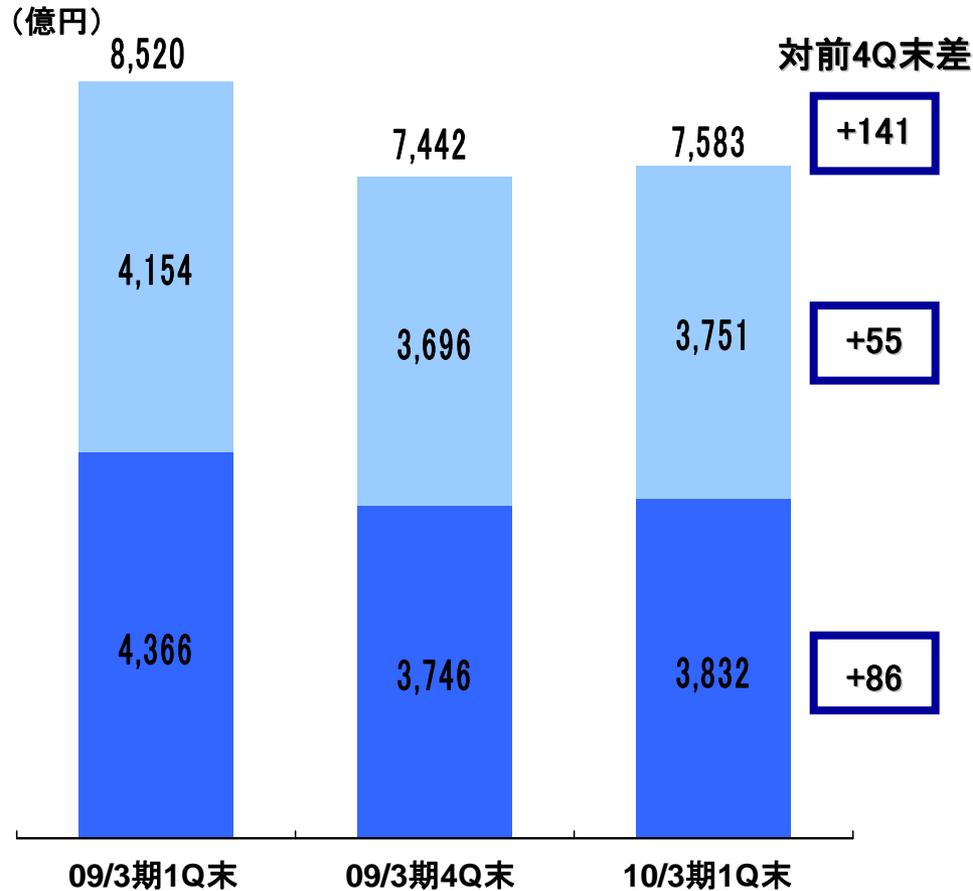
日本: 鉄道車両向け堅調、工作機械・建設機械・一般向けは低迷継続するが落ち幅は縮小、直動・ムトロ製品は依然低調なるも最悪期を脱し受注上向き、自動車向けは政策効果や客先在庫調整に目処が付き回復基調となったことにより、前4Q対比で売上げ

貸借対照表



資産

■ 固定資産 ■ 流動資産



09/3期1Q末

09/3期4Q末

10/3期1Q末

106.42

98.23

96.01

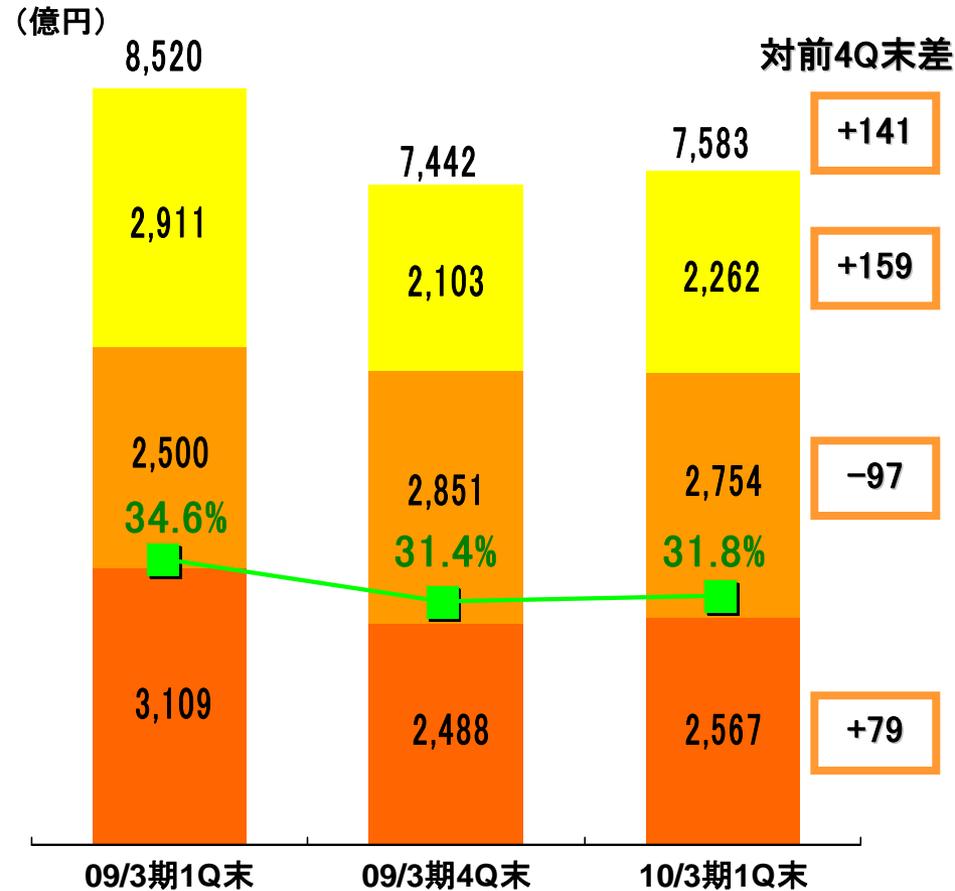
168.07

129.84

135.53

負債・純資産

■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債 ■ 自己資本比率



09/3期1Q末

09/3期4Q末

10/3期1Q末

106.42

98.23

96.01

168.07

129.84

135.53

換算レート: 上段US\$ 下段EURO

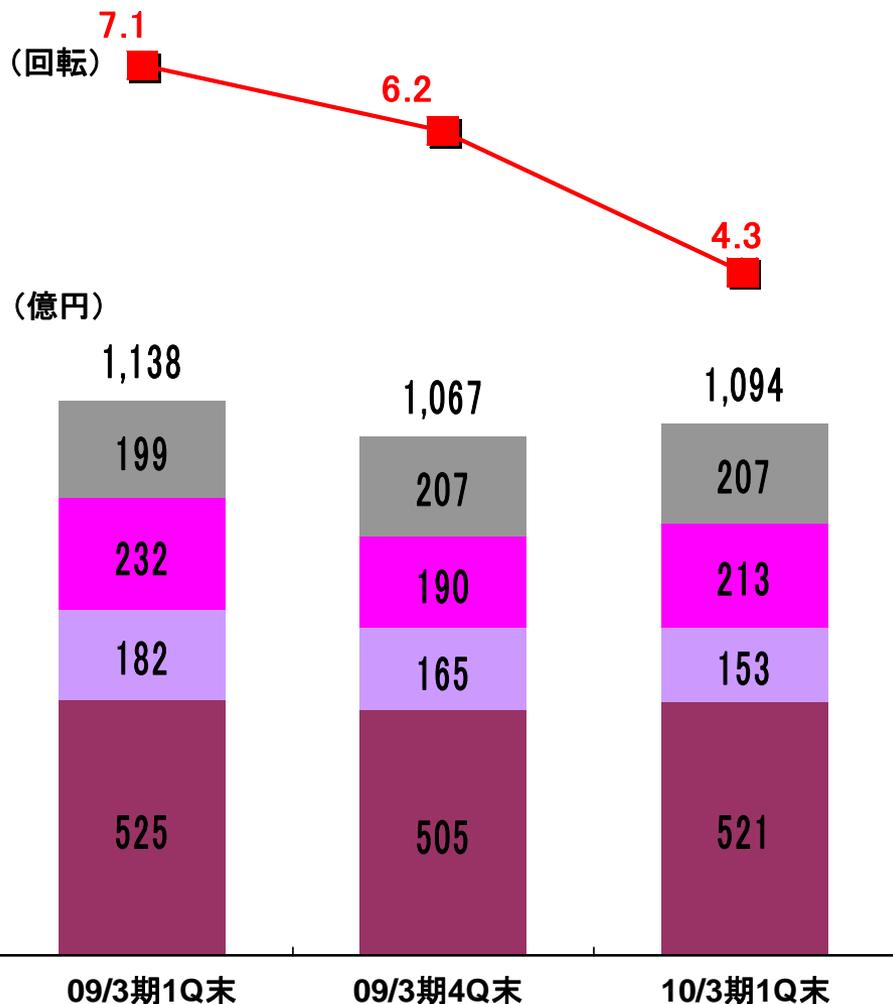
14 換算レート: 上段US\$ 下段EURO

棚卸資産・有利子負債



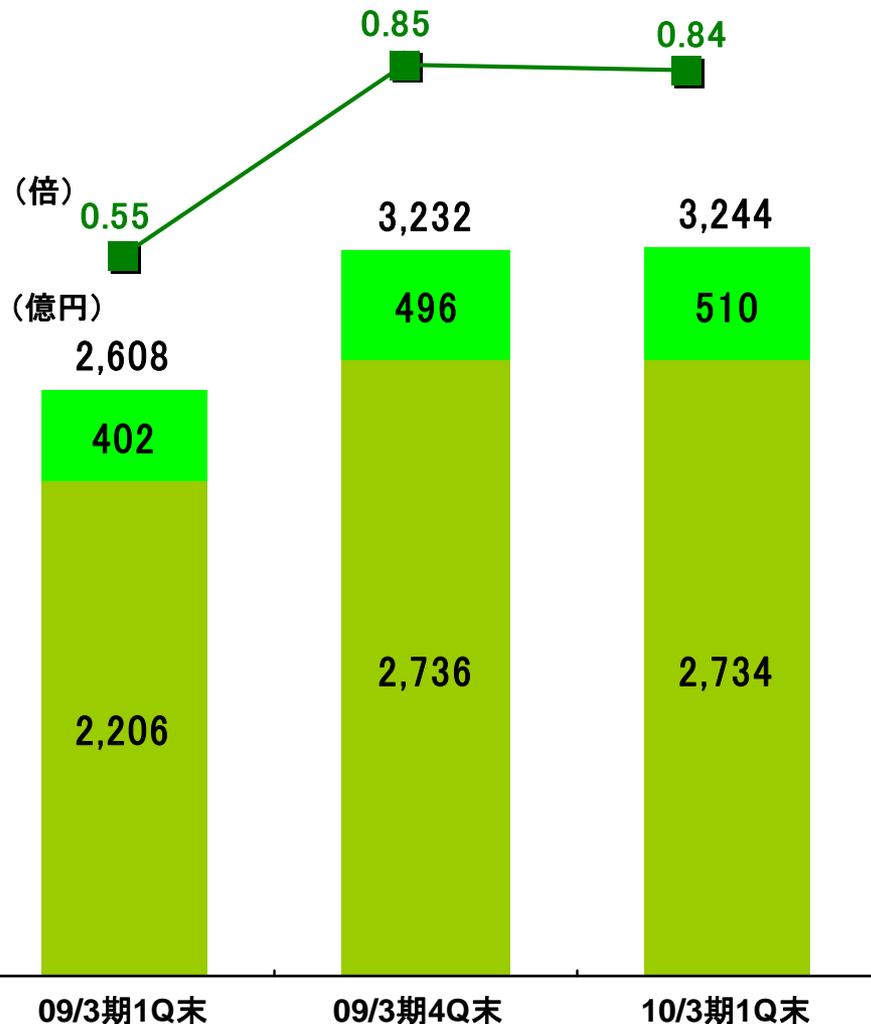
棚卸資産

■ 日本 ■ 米州 ■ 欧州 ■ アジア ■ 棚卸資産回転数

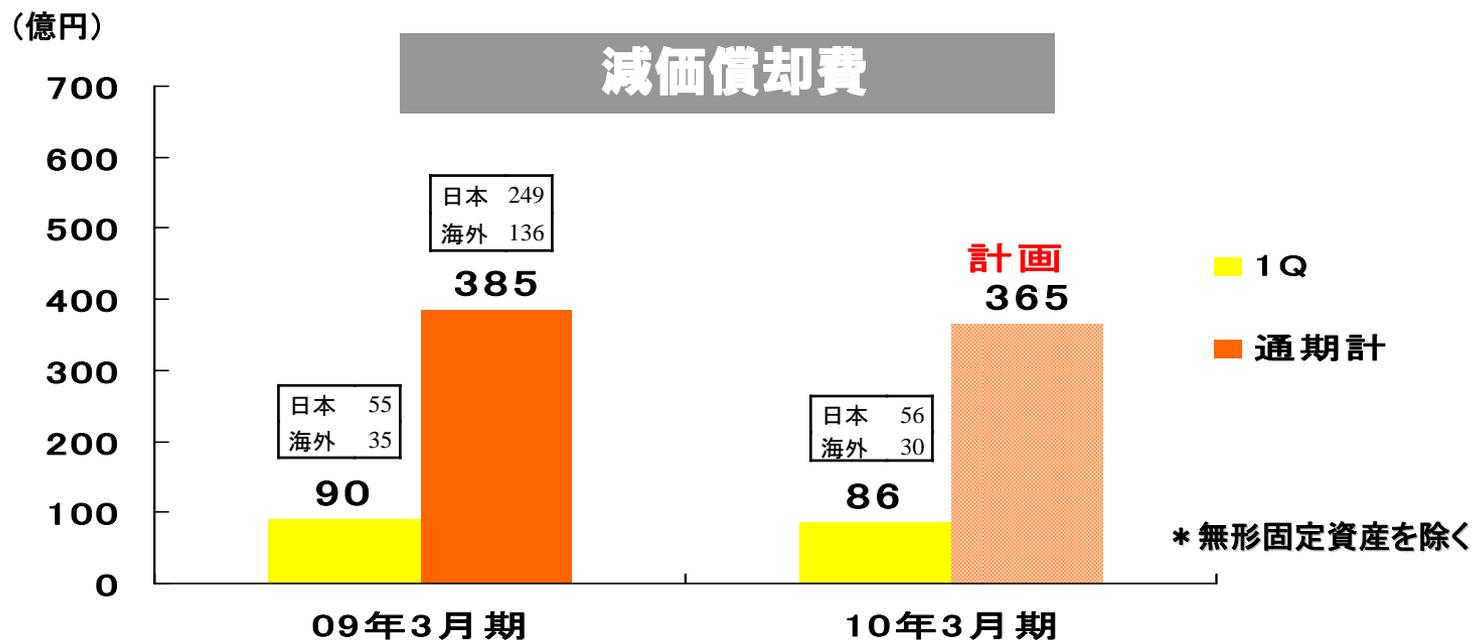
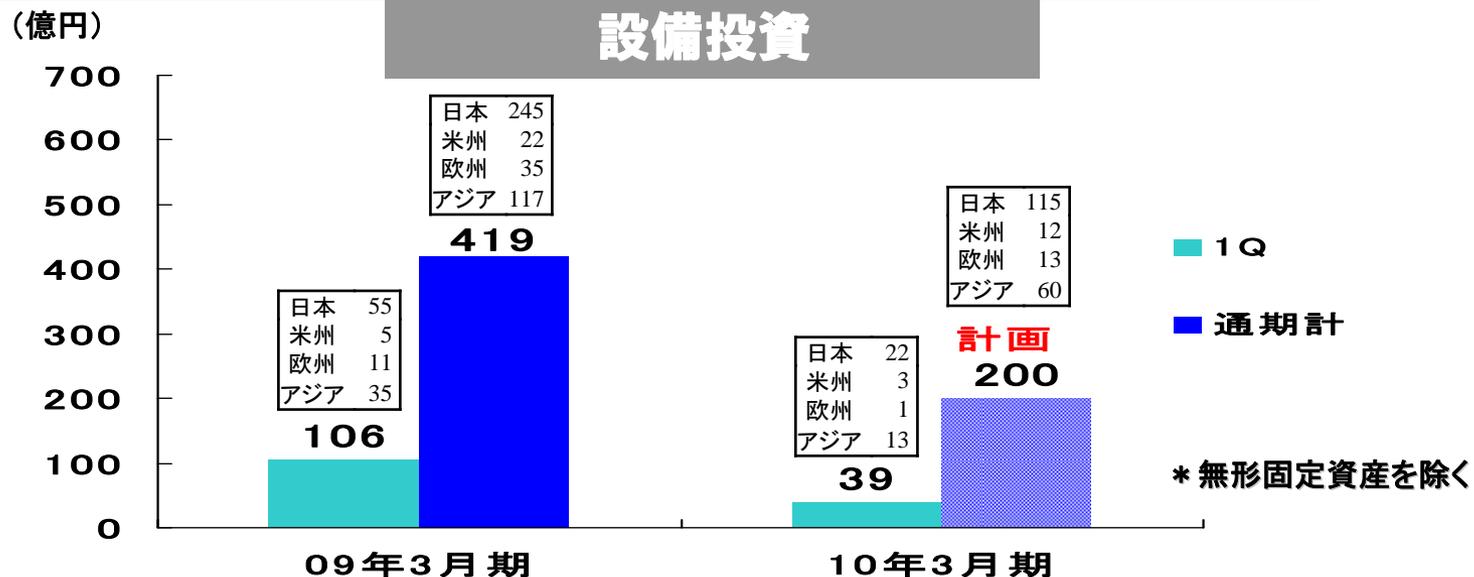


有利子負債

■ 日本 ■ 海外 ■ Net D/Eレシオ



設備投資・減価償却費

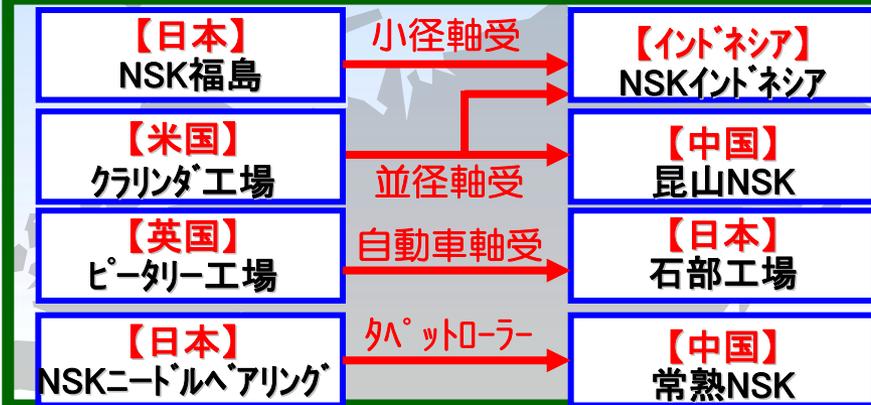


トピックス

グローバル生産体制の再編加速

軸 受

グローバル:最適地生産によるコストダウン



日本:ころ軸受の生産力強化



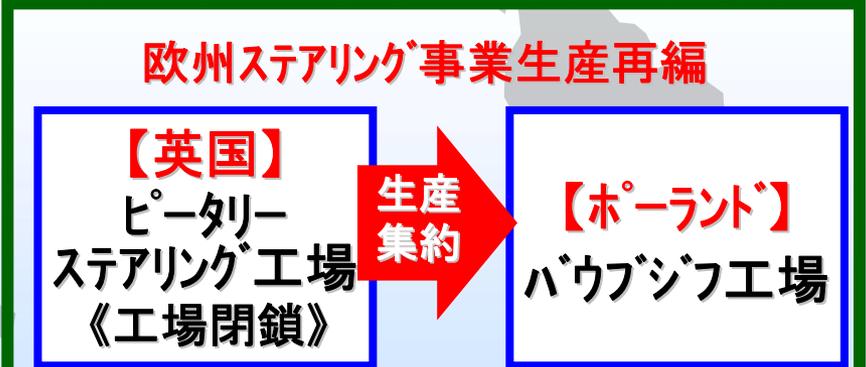
精機製品

グローバル再編による収益力向上



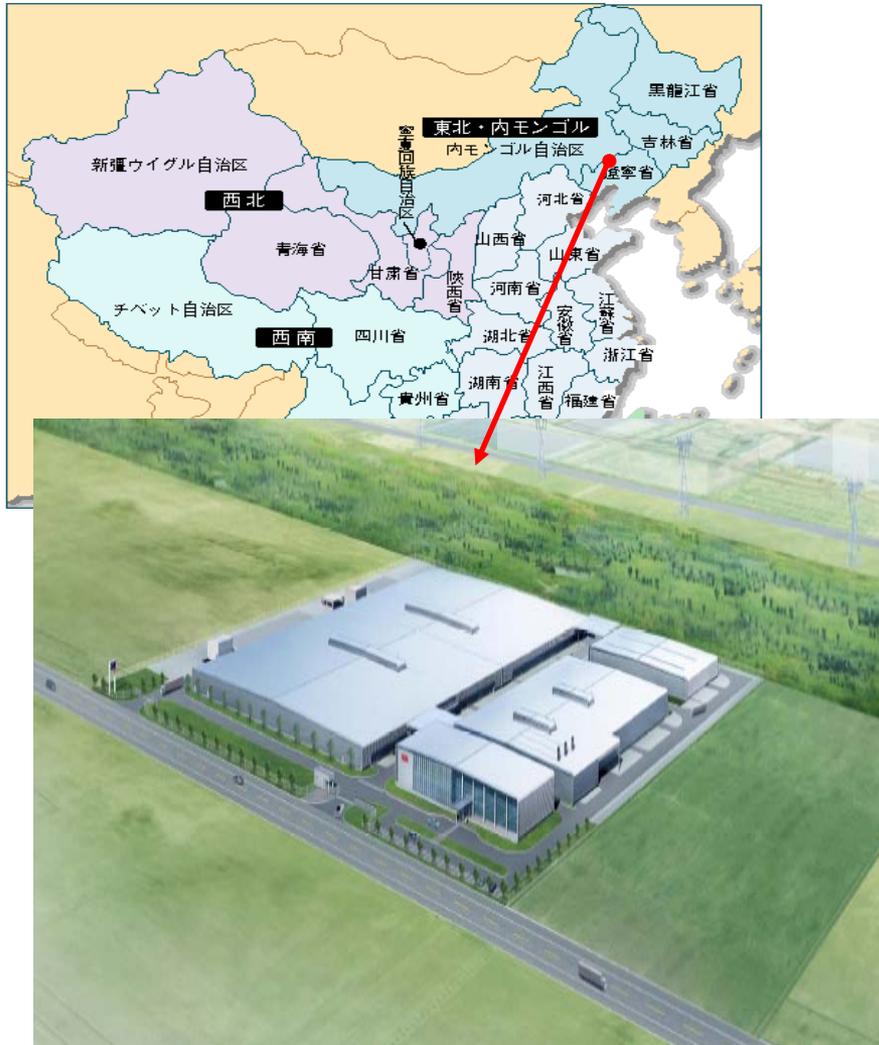
自動車部品

欧州域内の再編による収益力強化



生産拠点の再編・集中による収益力向上

中国における精機製品子会社の設立 **NSK**



《中国新工場完成予想図》

会社概要

- 社名：瀋陽恩斯克精密機器有限公司
- 所在地：中国 遼寧省瀋陽
- 資本金：3,500万米ドル(約35億円)
NSK出資100%
- 事業内容：精機製品の製造・販売
- 操業開始：2010年4月(予定)
- 狙い：
 - 成長市場である中国への積極拡販
 - グローバル供給拠点への基盤づくり
 - 競争力・収益力の向上

(補足資料) 研究開発費・人員



(億円)	09年3月期				10年3月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	通期計画
研究開発費	25	29	26	27	21	100

(人)	09年3月期				10年3月期
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
人員:合計	25,836	26,024	25,406	24,050	23,823
日本	11,270	11,234	11,242	11,155	11,491
米州	3,044	3,004	2,707	2,308	2,326
欧州	4,277	4,372	3,954	3,542	3,235
アジア	7,245	7,414	7,503	7,045	6,771

(補足資料) 業績予想



(億円)	09年3月期			10年3月期			
	上期 ＜実績＞	下期 ＜実績＞	通期 ＜実績＞	上期 ＜期初予想＞	下期 ＜期初予想＞	通期 ＜期初予想＞	対前期 増減額
売上高	3,833	2,643	6,476	2,500	3,000	5,500	-976
産業機械軸受	1,217	878	2,095	850	1,000	1,850	-245
自動車関連製品	2,141	1,384	3,525	1,400	1,700	3,100	-425
自動車軸受	1,167	733	1,900	770	940	1,710	-190
自動車部品	974	651	1,625	630	760	1,390	-235
精機製品	311	264	575	150	200	350	-225
その他	299	208	507	180	190	370	-137
消去	-135	-91	-226	-80	-90	-170	+56
営業利益	286 <7.5%>	-65 <-2.5%>	221 <-3.4%>	-70 <-2.8%>	100 <-3.3%>	30 <-0.5%>	-191
産業機械軸受	162 <13.3%>	33 <-3.7%>	195 <-9.3%>	35 <-4.1%>	95 <-9.5%>	130 <-7.0%>	-65
自動車関連製品	108 <5.1%>	-40 <-2.9%>	68 <-1.9%>	-20 <-1.4%>	55 <-3.2%>	35 <-1.1%>	-33
精機製品	30 <-9.6%>	-25 <-9.5%>	5 <-0.9%>	-45 <-30.0%>	-20 <-10.0%>	-65 <-18.6%>	-70
その他	18 <-5.9%>	-10 <-4.5%>	8 <-1.6%>	-15 <-8.3%>	-5 <-2.6%>	-20 <-5.4%>	-28
全社費用／消去	-32	-23	-55	-25	-25	-50	+5